



# Nagoya GRAMPUS

## 名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 「奉仕による成長」  
 アジア会長標語 「無私の奉仕で輝く未来へ」  
 西日本区理事標語 「ベクトルを合わせ、地域と共に活動を」  
 中部部長標語 「ワイズライフを楽しみましょう 例会を潤いの場に・・・」  
 クラブ会長標語 「Lets get together and have fun」

## 2002年10月号

### < 今月の聖句 >

主に従う人よ、主によって喜び歌え。主を讃美することは正しい人にふさわしい。琴を奏でて主に感謝をささげ十弦の琴を奏でてほめ歌をうたえ。新しい歌を主に向かってうたい美しい調べと共に喜びの叫びをあげよ。

詩篇 33

例会出欠・遅刻の連絡は「ご出欠連絡書」によりお願いします

## 2002年10月例会ご案内

### 第一例会

と き : 10月3日(木)  
 ところ : 名古屋YMCA  
 時 間 : PM7:00~

### 第二例会

と き : 10月17日(木)  
 ところ : 名古屋YMCA  
 時 間 : PM7:00~  
 10周年記念事業委員会等

### グランパス10周年記念行事準備総括

夕食弁当を用意しますので出欠を  
 10月2日(水)までに FAX or E-mail に  
 て吉田兄までご連絡願います。

FAX : 052-876-9735  
 e-mail : marus@mc.ccnw.ne.jp

### その他

#### YMCAバザー

と き : 10月27日(日)  
 ところ : 名古屋YMCA本館

9月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(9月)	
	在 席 者	18名	第 1 例 会	13名	当 月・切 手		ニコBOX ノート	
例会出席者	13名	第 2 例 会	11名	当 月・現 金		感 謝 ファンド		
当月出席率	72.2%	部 会 他	名	累 計		累 計		

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

= 強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う =

## 「一人がひとりを」



名古屋YMCA 事務局長 加藤 明宏

名古屋地区の5ワイズのブリテンに紙面をいただいたこと感謝申し上げます。

私は東京YMCA目黒ランチのリーダー時代、ワイズメンの何たるかも知らず、目黒クラブの方々に励ましの声をかけていただいたことが印象に残っています。職員として名古屋Y、大阪Yの中で、南山クラブ、東海クラブ、大阪サウスクラブ、高槻クラブの連絡主事またはメンバーとして関わらせていただいて、計り知れない多くのことを学ばせていただきました。

それはYMCAスタッフとしての学びというよりも、社会人・職業人としての学びでありました。

今名古屋YMCAは大きな転換期を迎えようとしています。その中であって常に前向きでいられるのは、ご自分の仕事以外にボランティアに関わっておられるワイズメンズクラブの方々のアクティブな活動を目の当たりにしているからです。2002年度下半期、YMCAは500名の会員増強キャンペーンを実施しています。これについてのお願いは無限大にありますが、この紙面をお借りしての願いはただ一つ「一人がひとりを」でございます。YMCAの様々な活動にご参加いただく方をご紹介いただき、そしてご入会いただきたいのです。またYMCAをサポートする維持会員となっただけの方もご紹介いただきたいと存じます。

今回は再建計画の一環ではありますが、私自身はひとつの「会員増強」のムーブメントだと考えます。YMCA NEWSを折る、手配りする、ポスティングする、友人に手渡す、置いていただけのお店に持っていく、ご友人に入会いただく。ひとつひとつの行為にYMCAやワイズを愛し、名古屋YMCA会員の方々の熱意が伝わってくる思いがします。私はワイズメンズクラブの力を信じております。よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

P . S .

ワイズのIBCはすばらしい事業だと常々思っています。会長、次期会長をはじめ、IBC担当の方も海外のクラブ訪問等の機会が多いかと思えます。また世界大会・アジア大会に参加の機会もあります。YMCA英会話事業はきっとお一人お

一人のワイズ活動の広がりにお役に立てると確信しております。またご自身の健康増進・維持（ウェルネス）のため、YMCA健康事業への参加もご検討ください。

## 「平和の灯火」集会

9月11日に開催された「平和の灯火」集会は、各新聞に掲載されYMCAの平和への取り組みが紹介されました。記事の一部を紹介します。



### 「 祈りのろうそく500本 」

米同時多発テロの犠牲者を慎み11日夜、名古屋YMCA本館前で「平和の灯火」500本がともされた。高校生のボランティアら150人が、教会や寺で使われたろうそくの残りをもらって竹筒に詰め直し、点火していった。

愛知県立中川商業高校2年の山田舞子さん(17)は「今この時も、恐怖におびえる人がいる。太平洋戦争より、去年のテロの方が身近に感じられ、平和の尊さを実感しました」。灯火は1300本作り、100本は中区の大須観音万松寺通商店街で、700本は希望者が家庭に持ち帰り点灯した。

(朝日新聞)



「竹筒の水にろうそく浮かべ」

「昨年9月11日に起きた米中枢同時テロとそれに続くアフガンでの戦争、さらにはイスラエルとパレスチナの両住民による激しい戦闘ほか、世界中で多くの紛争が続いています。私たちは日本Y M C Aの基本原則「世界の人々と共に平和の実現に努めます」にのっとり、地上からあらゆる紛争、暴力による争いがなくなるよう、多くの人と平和への祈りをささげる時を米中枢同時テロ一周年に当たるこの日に持ちます」とイベントの趣旨を説明するのは名古屋Y M C Aボランティアセンター主任の鈴木一弘さん。

----中略----

今回は当日、Y M C Aの玄関をはじめ、毎年Y M C Aの国際協力街頭募金の会場を提供している大須の万松寺通商店街、市内のキリスト教会、一般家庭などで、ボランティアが作成した手作りのキャンドル約千百個に一齐に灯をともし。

この催しのため、高校生から社会人まで約200人の会員やボランティアが先月から連日、キャンドル作りなどの準備を行っている。

-----中略-----

キャンドル作りに参加した東区の高校二年、山田舞子さんは、「普段、平和について考える機会がなかなかありません。イベントに参加することで、平和の大切さを考えるようになりました」。守山区の高校三年、中神慎一さん「この夏に広島で行われた青少年の国際平和セミナーに参加して、そこで初めて平和に興味を持ちました。自分が荘だったように、周りの人にとっても平和について考えるきっかけになればいいなと思います」

聖歌隊の指導に当たる昭和区の自営業、小尾雅彦さん(62)は「アメリカで起きたテロだけではなく、世界的に不条理なことが多過ぎる。人が人を傷つけるのは許されないことです」

アメリカ北西部出身の英会話講師、ジム・オルダネスさん(37)も「アメリカだけの問題ではなく、世界の人に9・11を考えてもらいたい」と訴える。

-----後略-----

(名古屋タイムス)

平和の灯火に使われた竹筒は、いつもたけのこ狩りでお世話になっている、三井兄宅から運ばれたものです。



## 国際協力街頭募金



9月29日(日)恒例となりました国際協力街頭募金が開催されました。あいにくの天候で高額募金が期待された松坂屋前は中止となりましたが、街行く人々の暖かい気持ちはどこも変わらないものでした。募金の額は

大須	80,215
Y M C A	21,865
南山	46,848
豊田	25,569
-----	
合計	174,497 円

でした。参加者された松原ファミリー、坂倉ファミリー、坂野兄はお疲れ様でした。

Y M C A国際協力募金は、とつぜんの地震や洪水、戦争で住む場所をなくしたり、難民になって困っている人々のためなどに使われます。

災害で家を失った人々へ～<インド(アジア)>  
約340円で一人に必要な物資を配ることができます。

孤児のための教材費として～<ウガンダ(アフリカ)>  
約50円で一人分の教材をそろえることができます。



中部部長を囲むグランパスメンバー

## 中部部会



平山あけみさんに花束贈呈の中部部長

9月15日、中日パレスにおいてプラザクラブのホストのもと、中部々会が開催されました。恒例により部会の前に中部評議会があり、昨年度の報告と新部長による今年度の部の方針が発表され評議員により承認されました。

また、部則の改訂があり、いままで監事が2名とされていましたが、1名となりました。部長は役員となつてから、次期部長、部長、直前部長、監事2年間とお役があり、通算5年間、部の運営にたずさわります。御存じだったでしょうか？これが、今年改訂され、4年でよくなります。でも長いですね。ご苦労様です。



それからクラブの評議会出席義務者は、部則によりクラブ会長、副会長2人（副会長が一人のクラブは直前会長と副会長）書記、会計の5名です。このことも、皆さん、おぼえておいてください。さて、部会第一部は「アリアと日本の歌のしらべ」と題して、平山明美さんの歌、菰田尚子さんのピアノで、美しい旋律に聞きほれました。（お二人の美しさにも……）

第二部の懇談会は、美味しい料理と各クラブのアピール、次回彦根で行なわれる西日本区大会のアピール等々、楽しいひとときを過ごしました。

服部庄三

## 第9回チャリティーラン

日時：2002年11月9日(土)

10:00～15:00

場所：名城公園～地下鉄名城公園前下車 徒歩5分  
または市役所駅下車 徒歩5分

心身に障害をもつ子供たちを対象として、全国のYMCAではいくつものキャンプを実施しています。チャリティーランはこれらのキャンプを支援するための募金を目的とした、チャリティーマラソンです。

テレビでもおなじみのチャック・ウィルソン氏が提唱し、ボランティアとして大会委員長をつとめています。東京では今年で15回目、名古屋でも今年で9回目を迎えます。

大会はすべてボランティアによって運営され、参加チームの参加費はすべて全国のYMCAで行う障害を持った子供たちのキャンプを支援するために用いられます。

主催：名古屋 YMCA

<http://www.ymcajapan.org/nagoya/jp/>

後援：愛知県 名古屋市 名古屋市教育委員会、  
NHK厚生文化事業団、名古屋市スポーツ  
振興事業団、中日新聞社

大会実行委員長：チャック・ウィルソン